

新緑杯のルールに関する重要事項の抜粋

2016年6月19日版

◆ 禁止事項

- 1) 本大会では、他のパラメンタリーディベートの大会と同様、論題発表後の準備時間そして試合中にチームのパートナー以外の者と口頭またはメモ等で相談することを禁じます。
- 2) 準備時間中、そして試合中には、携帯電話およびインターネット接続の可能な電子機器の使用を禁じます。また、ストップウォッチとして携帯電話を使用することも禁じます。電子辞書の使用は可能ですが、タブレット型端末(iPad など)の利用は禁止します。

◆ 試合進行上のルール

- 1) Point of Order (試合中に対戦相手のルール違反を指摘する行為) は禁止します。ルール違反があった場合、ジャッジが判断をするものとします。試合進行上支障をきたすルール違反があった場合、ジャッジが適切な処置をします。
- 2) Point of Information (POI) を行う場合、まずは席から立ち、その次に「Point」「Point of Information」といった表現で POI による発言の許可をスピーカーに求めてください。(起立しているならば、その間中は継続してスピーカーに POI をする意思があると伝わります)。
- 3) POI により発言を許可された者は、15 秒間だけ発言を許されます。

◆ ジャudgingに関して

- 1) 試合の勝敗は、議論全体の優劣を総合的に判断して決定されます。
- 2) 各スピーチの採点方法

個人得点は、以下の基準に基づいて与えられます：

(注: 以下の採点帰順は、英会話の授業でのスピーキングテストの採点帰順を模して作られました。初心者を出るだけ客観的に採点するために、あえて機械的にスコアを出せるようになっています。他の英語ディベートの大会では、この様な細かい採点の指示はありません。まずは Matter 以外の項目がほぼ満点になるように練習をさせてください)

【Constructive Speech に関して】

I. 話し方に関して (Manner)

1) スピーチ時間 (Time Management) [1 or 0 point]

- ・スピーチ時間は、Constructive Speech は 5~7 分です。
- ・スピーチ時間の過不足が、30 秒以内であれば 1 点、それを超えた場合は 0 点となります。

2) 議論の構成 (Structure) [1 or 0 point]

- ・以下の 3 点がスピーチを通じて満たされている場合 1 点、いずれかに問題があった場合 0 点となります：
 - a) 分かりやすいサインポストを明確に示した。
 - b) 議論の構成がわかりやすい (例えば、現状分析、問題解決の仕組み、重要性など小項目に分けて説明していた場合など)。
 - c) 相手チームへの応対 (反論そして議論の立て直し) において、相手のどの発言に対して応答しているのか明確であった。

3) スピーチの仕方 (Delivery) [3 ~ 0 point(s)]

- 以下の4点がスピーチを通じて満たされている場合2点となります。1箇所の項目に問題がある場合は1点となります。2箇所以上に問題がある場合、0点となります。:
 - a) 効果的なアイコンタクトの使用
 - b) 十分な声の大きさ
 - c) 効果的なジェスチャーの使用
 - d) 表情による効果的な表現

II. スピーチ内容に関して (Matter)

1) 論証の内容 (Reasoning) [2 ~ 0 point(s)]

- 納得のいく論証がスピーチを通じて述べられていた場合、2点
- 理解はできるが疑問の余地のある論証が述べられた場合、1点
- 明確に論証に問題がある場合、または論証が欠落している場合、0点

2) 議論の具体化 (Elaboration) [2 ~ 0 point(s)]

- 2つ以上、議論を効果的に根拠づける良い具体例や具体的な描写を示した場合、2点。
- 1つ示された場合、1点。
- 1つも示されなかった場合、0点。

3) 相手のスピーチへの応答 (Response) [2 ~ 0 point(s)]

- 相手からの反論にすべて、効果的な議論の立て直し(Reconstruction)を行い、また相手チームの議論に対して効果的に反論を行った場合、2点。
- 相手のチームへの応答は行ったが、反論または議論の立て直しのいずれかにおいて、1つの内容が不十分であった場合、1点
- 反論または立て直しのいずれかをまったく行わなかったか、2つ以上反論または議論の立て直しが不十分であった場合、0点。
- PM は、積極的に POI を行ったかでこの項目を判断します(POI を取って貰えたか、POI の中身自体が良い物であったかについては考慮しません)

III. スピーカーの役割 (Speaker's Role)

それぞれのスピーカーに特有の3つの役割に関して、それぞれ果たされていた場合1点ずつ加点します。

1) Prime Minister

- 論題の定義が明確に示されていたか。
- チームライン (チームとしての主張を簡潔にまとめた1文、必ずしもチームラインという用語を使わなくても良い) を明確に示したか。
- サインポストを提示して議論の役割分担 (team allocation) が明確に示されたか。

2) Leader of the Opposition

- Prime Minister から提示された定義に明確に回答していたか (定義を受け入れるが反対の立場をとる、といった事を明確に述べたか)。
- チームラインを明確に示したか。
- サインポストを提示して議論の役割分担 (team allocation) が明確に示されたか。

3) Member of the Government & Member of the Opposition

- ・パートナーの提示した team line を確認したか（繰り返し述べるだけで十分）。
- ・パートナーの提示した議論に対して、追加の説明（新しい具体例、追加の論証の説明）を行ったか。
- ・分担された議論を十分に説明したか。

【Reply Speech に関して】

1) スピーチ時間 (Time Management) [1 or 0 point]

- ・スピーチ時間は、Reply Speech は 3~4 分です。
- ・スピーチ時間の過不足が、30 秒以内であれば 1 点、それを超えた場合は 0 点となります。

2) スピーチの構成 [0 or 1 point]

- ・これから何を説明するか冒頭で説明した場合、1 点。その説明がない場合や、分かりにくい場合は 0 点。

3) スピーチの仕方 (Delivery) [2 ~ 0 point(s)]

- ・立論スピーチでの評価基準と同じです。

4) 試合の争点 (Key Issues) [2 ~ 0 point(s)]

- ・試合全体を、Key issues, Clash points, Key Questions といった新しい観点で効果的に総括した場合、2 点。
- ・試合全体を新しい観点で総括したが、観点の選択が効果的ではないか、いずれか 1 つの観点による説明が不十分であった場合、1 点
- ・新しい観点に立った総括をしなかった場合か、観点における説明が 2 つ以上不十分であった場合、0 点。

5) 具体化 (Elaboration) [1 or 0 point]

- ・議論を効果的に根拠づける良い具体例や具体的な描写を示した場合、1 点。
- ・1 つも示されなかった場合、0 点。

4) Point of Information に関して

a) POI を求めることに関して

- ・各スピーカーは、相手チームのそれぞれのスピーチにおいて、2 回以上 POI に立つことが求められます。

b) POI を取ることに関して

各スピーカーは、自分のスピーチにおいて、POI を 2 回程度取ることが期待されます。

*もし相手チームから POI の求めが十分になかった場合、減点はされません。例えば、相手チームが POI にほとんど立たなかった場合、POI が可能な時間のぎりぎりに突然立ち始めた場合などは、この「意図的に POI を避けている」場合には当たらず、減点対象とはなりません。

c) 減点の方法に関して

POI を全く行わず、取らなかったディベーターがいた場合に、一人につき 1 点を減点となります。